

第3回都心活性化プランに関する懇談会での意見を踏まえ、都心の将来像(案)を修正した。

第3回懇談会で提示した都心の将来像(案)

誰もが生き生きと輝き、平和を感じる都心
～ 国内外から人を惹きつける ～

第3回懇談会での都心の将来像に対する意見

- ①将来像に、もう少しエッジをかけられないか。「平和を感じる」ではなく、市民が全員、口々に平和を語るまちづくりをしてこそ、国内外の人が呼び込める。誰に聞いても、「広島の人には平和の事が誰でも答えられるよね」といったまちづくりが見える目標にしていだければと思う。
- ②最終的にはこの将来像のとおり、多様な方々が生き生きと過ごせることが大事だと思うが、戦略として動かすには、何度もご意見にあったように、「誰もが」の「誰」が「誰なのか」、ということを明確にしながら、何か打ち出していけないと、「多様」が「無用」になってしまう。
- ③誰をターゲットにしていくのかということについては、誰もが享受できるような姿を描けば良いのではないかと考えている。
- ④この将来像を見て、やはり広島だなと言うことが、言葉が一般的すぎて、よく分からない。当たり前にはやらないといけないことも多々あるが、それにプラスして、もう少し広島らしさを強調してもよいのではないか。
- ⑤いかに外国人の観光客を惹きつける魅力を出していくかということは、民間の力が非常に重要になってくると思う。そうしたことから、民間活力を取り込んでいくことを一層推進していく、こうしたことを念頭に置いた将来像が必要になるのではないかと思う。
- ⑥誰もが生き生きと輝き、平和を感じる都心というのは、10年前でもそうでしたと言われても、そうだろうと思うし、50年前でもそうだろうと思う。これから新しく都心の未来を創っていく中で、何かインパクトとなるような表現や文言が入っていた方がよいと思う。

都心の役割と特徴

広島市基本構想	都市像：国際平和文化都市	都心	《役割》	活力と賑わいのエンジン、都市全体の活力と賑わいを生み出す中心となる場所
広島市都市計画マスタープラン	都市づくりの目標：世界に誇れる『まち』 3つの視点：「活力」、「魅力」、「快適性」		《特徴》	水と緑が豊かなまち 国際的知名度 コンパクトなまち

※都心の特徴は、第3回までに提示した都心の現状やワールドカフェ等の意見から、3項目を絞り込んだ。

基本的な考え方

広島市は、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現、豊かな文化と人間性をはぐくむ都市づくり、世界に開かれた活力ある都市を目指しています。また、広島市都市計画マスタープランにおいて、「活力」、「魅力」、「快適性」という三つの視点で、世界に誇れる『まち』となることを都市づくりの目標としています。

こうした都市づくりを進めていく上で、都心は、市民はもとより、国内外から多くの人を惹きつけ、都市全体の活力とにぎわいを生み出す中心的な役割を担っています。

そうした広島市の都心が、特徴である水と緑の豊かさやコンパクトさを生かし、訪れる人にとっては、往来しやすく回遊できるまち、住む人、働く人、学ぶ人にとっては、安全・安心で快適に生活できるまちになるとともに、国際的知名度を生かし、訪れる人と生活する人の誰もが集える、にぎわいと交流を生み出すまちとなることを将来像として掲げます。

さらに、都心に集う、市民、企業、行政などの多様な主体が、自分たちのまちに郷土愛をもち、積極的にまちづくりに関わり、広島の平和と文化を伝える架け橋となって、持続的に国内外から人を惹きつけることを目指します。

修正後の将来像(案)

誰もが集える、にぎわいと交流のまち
～多様な主体が平和と文化の架け橋となり、国内外から人を惹きつける～